

KIS 国際物流ニュース！（2019年12月号）

国際物流業務に役立つ 最新情報をお届け！

国際事情、行政、システム、導入事例、多彩な情報からピックアップ



トラストサービス タイムスタンプ、書類の改ざん防止、書類の発行元証明

まずトラストサービスとは。総務省のトラストサービス検討ワーキンググループの最終提言書骨子には「送信元のなりすましやデータの改ざん等を防止する仕組み」とあります。それを実現するサービスとして「電子署名」「タイムスタンプ」「eシール」「ウェブサイト認証」「eデリバリー」があげられ、それぞれ方針に基づき今後具体化されていきます。

企業側においては国際物流に限らず、各種法令で文書の保存を義務付けられています。しかし電子的な保存は法令に規定されておらず曖昧なため、例えば建築士が作成した設計図書は15年間の保存規定があるが、電子的に作成された文書を保存義務遵守のために印刷し、それを15年保存しているのが現状だそうです。海貨通関業界でも同じことが行われていると感じました。また電子署名法で電子署名が手書きや押印と同等に適用されているが、その有効期間が最長5年であり、電子署名のみでは長期的に真正性を検証できないと指摘されています。

2023年10月からは消費税の納付計算にインボイス方式が導入されます。文書保存に関するトラストサービス提供事業者がインボイスについてもサービスを提供するようになると思われ、文書の証憑性が高まり、それを活用した文書管理（ドキュメント ライフサイクル マネージメント）ソリューションが必要となると思われます。

荷待ち時間問題 ITトレンドを取り入れた解消の取組！

荷待ちのトラックで周辺道路が大渋滞。物流施設の周辺で大きな課題になっているのは周知の事実です。また受け入れる倉庫側は、バースに殺到するトラックからの荷捌きによる倉庫作業員の負荷増大、人員配置が予測できずに現場での対応で乗り越えています。さらに環境問題としてのCO2排出問題。アイドリング状態で停車しているトラックからの排気ガス。環境省が低炭素型物流システムの構築支援を目的に環境負荷低減の取り組みとして「2019年度 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（物流分野におけるCO2削減対策促進事業）」を公募しました。

「第1回 関西物流展」が大阪であり参加してきました。そこにはITで課題解決するソリューションも多く、ITトレンドである「クラウド」、「スマホ連携」ソリューションがいろいろありました。「バース渋滞を解消するソリューション」が何社かから紹介されていたので、その一つをご参考に紹介します。株式会社モノフル様のトラック受付/予約サービス「トラック簿」です。スモールスタートであれば月額基本料0円、メッセージにかかる通信料が20円/通（Line利用であれば無料）といったシステムというよりスマホアプリで聞くような価格設定です（機能アップで月額が発生）。